

令和6年定例会
予算決算常任委員会
政策企画雇用経済観光分科会
説明資料

◎ 議案補充説明

議案第124号 令和6年度三重県一般会計補正予算（第3号）

・・・ 1

◎ 所管事項説明

令和7年度当初予算要求状況（観光部関係分）について

・・・ 3

令和6年12月9日

観光部

◎議案補充説明

・議案第 124 号 令和 6 年度三重県一般会計補正予算（第 3 号）

○令和 6 年度三重県一般会計補正予算（第 3 号）総括表

（金額単位：千円）

区 分	補正前の額	補正額 (第 3 号)	補正後の額
一般会計	2,467,155	4,015	2,471,170
商工費	2,467,155	4,015	2,471,170

○令和 6 年度三重県一般会計補正予算（第 3 号）主な項目一覧

（金額単位：千円）

項 目	細事業名	補正前の額	補正額 (第 3 号)	補正後の額	説 明
商工業費	観光振興費				
	人件費	376,251	15,436	391,687	人件費の精査による増額
	拠点滞在型観光推進事業費	587,747	△11,085	576,662	事業実績見込額精査に伴う減額

○債務負担行為（一般会計第 3 号関係）

（追加）

（金額単位：千円）

事 項	期 間	限 度 額
県営サンアリーナ内の県内産間伐材使用ベンチ使用に係る契約	令和 6 年度～令和 7 年度	144
みえ旅おもてなしプラットフォームに係る契約	令和 6 年度～令和 7 年度	2,600

◎ 所管事項説明

令和7年度当初予算要求状況

「みえ元気プラン」取組概要

(観光部抜粋版)

令和6年12月

三重県

施策 5-1 持続可能な観光地づくり

(主担当部局：観光部)

施策の目標

(めざす姿)

魅力ある地域資源を生かした観光コンテンツの提供や、質の高い宿泊施設等の受入れ環境整備など、旅行者のニーズに対応した受入れ体制が整備されることで、三重県を訪れた人びとが観光を満喫でき、観光客の満足度が向上するとともに、平均宿泊日数が増加しています。

また、地域住民をはじめ、地域全体で旅行者の受入れ機運を高め、三重県の持続可能な観光が推進されることで、三重県を訪れた旅行者がより深く観光コンテンツを体験でき、長期滞在が増加するなど、三重県の「拠点滞在型観光」のイメージが定着しています。

1. 基本事業の取組状況

基本事業名

令和6年度の主な取組

① 拠点滞在型観光の推進

・本県の平均宿泊日数は全国に比べて低位であることが課題であるため、拠点滞在型観光の推進に向けて、伝統、祭り、歴史・文化、自然など三重ならではの観光資源を生かしたコンテンツの発掘・磨き上げや提供・販売体制の構築、地域ブランディングに取り組む意欲のある地域DMO等を支援します。また、地域特有の食材、伝統、歴史・文化等によって育まれた食の魅力発信や関係者同士の交流機会の創出などに取り組み、ガストロノミーツーリズムを推進しています。

・質が高く持続可能な観光地づくりに向け、地域DMO等が行う旅行者の宿泊・滞在拠点となる宿泊施設や観光案内、二次交通の充実等に向けた取組を支援しています。

② DMO(観光地域づくり法人)等の支援

・全県DMOである(公社)三重県観光連盟がインバウンド向けプロモーションや地域DMO等への支援を着実に実施するための基盤強化を図ります。また、データマーケティングや国内向けプロモーションについて、全県DMOとして果たすべき役割を検討します。

③ 受入れ環境の整備

・高付加価値旅行者の受入れ環境の整備に向け、ヘリコプターを活用した観光について、ヘリコプター事業者や観光協会、市町などで構成するヘリコプター活用促進協議会において検討を進めるとともに、上質な宿泊施設の新規立地に向けた誘致に取り組んでいます。

・外国クルーズ船のさらなる誘致に向け、寄港地での周遊と消費につながる魅力づくりなど、関係機関と連携しながら受入れ体制の充実に取り組んでいます。

・誰もが三重の観光を楽しむことができるバリアフリー観光を推進するため、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと連携し、宿泊施設等に対するパーソナルバリアフリー基準による調査や「観光施設における心のバリアフリー認定」の取得促進などに取り組んでいます。また、県内の宿泊施設や観光施設のバリアフリー情報を網羅した専用サイトの整備を行うとともに、旅行会社が情報を活用し、旅行手配サービスが提供できるよう仕組づくりを行っています。

④ 観光人材の育成

・観光産業における人材不足対策のため、観光事業者を対象に生産性向上に向けたコンサルティングを行うとともに、観光人材の確保に向けた就職説明会や求人情報サイトを活用した採用支援、観光産業の魅力発信に取り組んでいます。

・高付加価値旅行者の多様なニーズに対応するため、観光ガイド人材の確保・育成に取り組んでいます。

2. KPI（重要業績評価指標）の状況

KPIの項目							関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度	6年度		7年度	8年度	6年度の 評価	
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値		
観光客満足度							①②③④	
—	95.0%	95.0%	95.0%	—	95.0%	95.0%	—	
93.5%	94.4%	95.7%	—	—	—	—	—	
県内の平均宿泊日数							①②③④	
—	1.19泊	1.23泊	1.26泊	—	1.30泊	1.33泊	—	
1.20泊	1.23泊	1.23泊	—	—	—	—	—	
リピート意向率							①②③④	
—	95.0%	95.0%	95.0%	—	95.0%	95.0%	—	
92.6%	93.2%	93.3%	—	—	—	—	—	

※ KPIについては全て暦年の数値

3. 令和7年度の課題と取組方向

基本事業名
・令和7年度以降に残された課題と対応
<p>① 拠点滞在型観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点滞在型観光をさらに推進するため、地域のDMO等による滞在価値向上に向けた取組や旅行商品の提供・販売体制の構築等を支援します。また、ガストロノミーツーリズムの推進に向けて、意欲ある事業者や団体等と連携し、三重の食や食文化の魅力発信に取り組みます。
<p>② DMO(観光地域づくり法人)等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全県DMOである(公社)三重県観光連盟が観光地経営の司令塔としての役割を担うことができるよう、インバウンド向けプロモーションや地域DMOへの支援のほか、データマーケティングや国内向けプロモーションを着実に実施するための基盤強化を図ります。
<p>③ 受入れ環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者や高齢者、外国人旅行者など、誰もが安心して観光を楽しむ受入れ環境の充実を図るため、宿泊事業者・観光事業者等が地域のDMOと連携して実施する宿泊施設の和洋式化やトイレの洋式化等の取組を支援します。 ・外国クルーズ船のさらなる誘致に向け、寄港地のPRや周遊促進、誘致・受入れ体制の強化に関係機関と連携して取り組みます。 ・誰もが三重の観光を楽しむことができるバリアフリー観光を推進するため、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターと連携し、宿泊施設・観光施設に対するパーソナルバリアフリー基準による調査や「観光施設における心のバリアフリー認定」の取得促進などに取り組みます。
<p>④ 観光人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光事業者における人材確保のため、観光事業者を対象とした経営課題の解決に向けたセミナーやコンサルティングの実施を通じて、生産性向上や人材確保の取組を支援するほか、県内観光産業の魅力について情報発信に取り組みます。 ・旅行者が安心かつ快適に県内を周遊できる環境を整えるため、観光ガイド人材の確保・育成に取り組みます。

4. 主な事業

◀ (1) 拠点滞在型観光の推進 ▶

①(一部新)拠点滞在型観光推進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R6) 587,747千円 → (R7) 39,680千円

事業概要:DMO等を中心とした滞在型の観光コンテンツの発掘・磨き上げや提供・販売体制、プロモーション、地域ブランディングに向けた取組を支援することで拠点滞在型観光を推進します。

◀ (2) DMO (観光地域づくり法人) 等の支援 ▶

①(一部新)全県DMO経営基盤強化事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R6) 161,461千円 → (R7) 143,193千円

事業概要:全県DMOである三重県観光連盟が観光地経営の司令塔としての役割を担うため、インバウンド向けプロモーション、地域DMOへの支援、データマーケティング及び国内プロモーションの取組を着実に実施できるよう基盤強化を図ります。

◀ (3) 受入れ環境の整備 ▶

①(一部新)観光客受入環境整備事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R6) 56,758千円 → (R7) 649,004千円

事業概要:旅行者が快適かつ便利に滞在できる環境を整えるため、引き続きバリアフリー観光を推進します。また、国内外の旅行者が快適に観光を楽しめる環境の充実のため、宿泊事業者・観光事業者等が地域のDMOと連携して実施する宿泊施設の和洋室化やトイレの洋式化等の取組を支援します。このほか、高付加価値旅行者層の多様なニーズに対応できる観光ガイドの育成などインバウンドを含めた受入れ環境の充実や外国クルーズ船の誘致・受入れ体制の強化に取り組むとともに、宿泊施設の誘致に関する専門的な知見を有するアドバイザーを活用し、上質な宿泊施設の誘致に取り組めます。

②観光戦略費

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R6) 5,643千円 → (R7) 12,322千円

事業概要:旅行者の安全を確保し、安心して快適な観光旅行を提供するため、観光防災マニュアル作成に向けた取組等に取り組むとともに、観光施策に関する課題解決の方向性を検討します。

◀ (4) 観光人材の育成 ▶

①(一部新)観光産業支援事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R6) 72,007千円 → (R7) 41,991千円

事業概要:観光産業が抱える生産性の低さや人手不足等の課題解決に向け、個別コンサルティングやセミナーの実施等により生産性向上及び人材確保に一体的に取り組むとともに、本事業の取組を情報発信し、観光産業の魅力向上に取り組めます。

施策 5-2 戦略的な観光誘客

(主担当部局：観光部)

施策の目標

(めざす姿)

国内外の多くの旅行者が観光の目的地として三重県を選び、県内の観光消費額が増加しています。また、旅行者データや観光統計に基づく観光マーケティング・マネジメントを行い、旅行ニーズに合わせた戦略的な観光プロモーションを展開することで、三重県ファンが増加するとともに、国内外から三重県への来訪や宿泊が増加しています。

1. 基本事業の取組状況

基本事業名

・令和6年度の主な取組

① 観光マーケティングの推進

・市町やDMO、観光関連団体等におけるデータ分析に基づく観光マーケティングの取組を支援するため、令和5年度に公開したサイト「三重県観光統計データ」の充実やデータを利活用できる人材育成のためのセミナーを開催します。

② 観光プロモーションの強化

・首都圏からの来訪者数や観光消費額の増加を図るため、首都圏等大都市圏の比較的消費単価の高い顧客層を対象に、交通広告等の各種広告や情報発信に向けたメディアへの働きかけ、観光事業者と連携した旅行商品の造成・販売等に取り組んでいます(交通広告:JR東京駅、JR新宿駅、阪急梅田駅の3か所、旅行商品の利用者数:1,824人【令和6年9月30日現在】)。
・熊野古道世界遺産登録20周年及び大阪・関西万博を契機とした三重への観光誘客を推進するため、交通事業者と連携した旅行商品の造成・販売等に取り組んでいます。
・県内への誘客や周遊を促進するため、株式会社ポケモンとの包括連携協定を活用し、県内の鉄道やバス事業者と連携した県内での周遊を促進するスタンプラリーなどの取組を実施しています。
・閑散期や平日の需要喚起を図るため、平日を対象とした体験コンテンツの利用促進や高速道路を利用した周遊促進に向けたキャンペーンなど、県内への周遊促進に向けた施策を実施しています(体験コンテンツの利用者数:8,612人、ドライブプランの利用件数:2,024件【令和6年9月30日現在】)。
・県内への再訪が見込める将来のファン獲得につなげるため、県外からの教育旅行の来訪促進に向け、目的地としての魅力をPRするなど誘致に取り組んでいます。

③ インバウンドの誘客

・海外からの高付加価値旅行者の誘致を進めるため、まずは経済波及効果が大きいと期待される市場(米・英・仏)を対象に、レップ(営業代理人)や商談会等を活用した誘客に取り組んでいます。
・紀伊半島など広域での誘客に向けて、奈良県、和歌山県のモデル観光地の取組と連携し、海外の旅行会社やメディア向けに紀伊半島の魅力発信やファムトリップの受入などを進めています。
・海外からの企業の報奨旅行・研修視察旅行の増加につなげるため、三重県産業観光推進協議会によるプロモーション等の活動を支援するとともに、県内での産業観光の取組の拡充に向けて、県内4地域(四日市、伊賀、伊勢、津)で説明会を開催しました。
・G7伊勢志摩サミットやG7三重・伊勢志摩交通大臣会合の開催地としてのブランド力や美しい自然、歴史・文化、多様な産業の集積といった強みを生かし、レップの設置や商談会参加などを通じてMICE誘致に取り組んでいます。
・外国人旅行者の三重県への周遊・宿泊を促進するため、大阪・関西万博やF1日本グランプリなど、海外からも注目される大規模イベントを目的に来訪する外国人旅行者やゴールデンルートを周遊する外国人旅行者等に向けて、海外OTA(オンライン旅行会社)の活用やEXPO2025関西観光推進協議会、JNTO(日本政府観光局)との連携等による情報発信などに取り組んで

います。

・アジア市場等からの外国人旅行者を誘致するため、(公社)三重県観光連盟と連携し、SNS等オンラインを活用した情報発信や海外旅行会社へのセールスなど、プロモーションの強化に取り組んでいます。

2. KPI (重要業績評価指標) の状況

KPIの項目						関連する基本事業	
令和3年度	4年度	5年度	6年度		7年度	8年度	6年度 の評価
現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	
観光消費額						①②③	
—	4,950億円	5,250億円	5,560億円	—	6,000億円	6,500億円	—
3,562億円	4,269億円	4,882億円	—	—	—	—	—
県内の延べ宿泊者数						①②③	
—	766万人	812万人	860万人	—	946万人	1,041万人	—
518万人	688万人	734万人	—	—	—	—	—
県内の外国人延べ宿泊者数						①②③	
—	34.6万人	36.7万人	38.9万人	—	42.0万人	45.4万人	—
1.7万人	4.9万人	20.1万人	—	—	—	—	—

※ KPIについては全て暦年の数値

3. 令和7年度の課題と取組方向

基本事業名

・令和7年度以降に残された課題と対応

① 観光マーケティングの推進

・観光統計データなどを取得し公開しているサイト「三重県観光統計データ」について、主要施設の入込客数を公開するなどデータの充実に取り組みます。

② 観光プロモーションの強化

・首都圏等大都市圏からの誘客促進に向け、SNS動画、各種広告等さまざまな手段を組み合わせることにより、効果的に三重の魅力を発信し、本県の認知度向上を図ります。
 ・大阪・関西万博の開催を契機として、三重への観光誘客を推進するため、交通事業者等との連携による企画きっぷや、県内の周遊促進に向けた旅行商品のプロモーション等に取り組みます。
 ・県内への誘客や周遊を促進するため、株式会社ポケモンとの包括連携協定を活用して県内の交通事業者等と連携した取組を実施します。
 ・平日や閑散期の旅行需要喚起のため、県外からの教育旅行の誘致に向けた目的地としての魅力のPR等に取り組みます。

③ インバウンドの誘客

・海外から高付加価値旅行者の誘致を促進するため、奈良県、和歌山県等と連携し、紀伊半島のブランド化を図るとともに、商談会への参加や旅行会社、メディアを対象としたファミトリップの実施等に取り組みます。また、フランスにレップを設置し、旅行会社との連携強化を通じて、新たな旅行者層を対象とした誘客プロモーションを実施します。
 ・海外からの企業の報奨旅行・研修視察旅行の増加につなげるため、三重県産業観光推進協議会によるプロモーション等の活動を支援します。また、レップの設置や商談会参加などを通じて、引き続きMICE誘致に取り組みます。

- ・ゴールデンルート等を周遊する外国人旅行者や大阪・関西万博を訪れる外国人旅行者を県内に誘客するため、海外OTAや検索サイトを活用した広告配信をはじめとした情報発信や、県内の宿泊施設及び体験コンテンツの海外OTAへの登録・活用を促進するとともに、EXPO2025 関西観光推進協議会と連携した取組等を実施します。また、中部圏の近隣自治体と連携した広域でのプロモーションに取り組みます。
- ・インバウンド誘客の取組は民間との連携が効果的であることから、官民連携組織である(公社)三重県観光連盟が取り組むインバウンド向けプロモーションを支援します。
- ・観光誘客に重点的に取り組む市場において、本県の認知度や関心の向上を図るため、観光・物産・食が一体となったプロモーションに取り組みます。

4. 主な事業

《(1) 観光マーケティングの推進》

①(一部新)観光データ調査事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R6) 22,110 千円 → (R7) 58,290 千円

事業概要:データに基づいた観光マーケティングを推進するため、国内外の旅行者の属性や出発地、県内での立ち寄り場所等のデータ取得・収集や観光客実態調査の実施に取り組みます。また、データの利活用に向けた研修をあわせて実施し、市町・DMO・観光協会におけるデータ等に基づいた施策立案の推進を支援することで、地域における外国人旅行者を含めた誘客や宿泊につなげます。

《(2) 観光プロモーションの強化》

①大都市圏プロモーション事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R6) 181,002 千円 → (R7) 186,227 千円

事業概要:比較的消費単価の高い旅行者層を誘致するため、首都圏等の大都市圏を中心に各種広告やSNS動画等の多様な手段を活用したプロモーションを実施することで、効果的に三重の魅力を発信し、本県の認知度向上を図ることで誘客につなげます。

②観光誘客促進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R6) 112,338 千円 → (R7) 103,441 千円

事業概要:大阪・関西万博を契機として県内への誘客を促進するため、交通事業者と連携した旅行商品や企画きっぷの販売促進に向けたプロモーションを実施します。また、県内で撮影された映画・ドラマ等のロケ地情報や周囲の観光地情報の発信などにより、県内への誘客や周遊促進に取り組みます。

③観光需要平準化促進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R6) 173,216 千円 → (R7) 75,999 千円

事業概要:観光需要の平準化を図るため、閑散期や平日を対象とした体験コンテンツの利用促進による県内周遊を進めるほか、教育旅行の誘致促進などに取り組みます。

《(3) インバウンドの誘客》

①(一部新)高付加価値旅行者層誘致促進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R6) 57,788 千円 → (R7) 47,202 千円

事業概要:海外からの高付加価値旅行者層を誘致するため、欧州レップ(営業代理人)や商談会参加等によるプロモーションを行うとともに、フランス市場からの福利厚生旅行等の誘致に向けて観光セミナーや旅行会社の招請を実施します。また、奈良県、和歌山県等と連携し、紀伊半島として広域での高付加価値旅行者層の誘致に取り組みます。

②(一部新)海外MICE誘致促進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R6) 37,421 千円 → (R7) 37,301 千円

事業概要:G7伊勢志摩サミットやG7三重・伊勢志摩交通大臣会合の開催地としてのブランド力や美しい自然、歴史・文化、多様な産業の集積といった強みを生かし、国内外において積極的なセールス活動を行うことで、県内経済への波及効果が高い国際会議等の誘致に取り組みます。

③(一部新)プラス三重旅促進事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R6) 50,033 千円 → (R7) 138,463 千円

事業概要:訪日旅行者のゴールデンルートや大阪・関西万博やF1など世界的イベント等を機に三重県周辺地域を訪問する外国人旅行者の県内への周遊・宿泊を促進するため、海外OTA(オンライン旅行会社)等を活用した情報発信に取り組みます。また、JNTOやEXPO2025 関西観光推進協議会、中央日本総合観光機構を通じた近隣自治体と連携したプロモーションに取り組みます。

④(新)海外誘客推進プロジェクト事業

(第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費)

予算額:(R6) -千円 → (R7) 147,630 千円

事業概要:観光誘客に重点的に取り組む市場において、セミナーや商談会、旅行会社・インフルエンサーの招請等の取組を強化するとともに、観光・物産・食が一体となった観光物産展等の取組を行うことで、本県の認知度や関心の向上を図ります。また、本県が車を活用した周遊観光に適していることを踏まえ、海外からのレンタカー利用客の誘客を進めます。

令和7年度 観光部関係当初予算要求状況総括表

単位：千円

区 分	令和6年度 当初予算額 (A)	令和7年度 当初予算要求額 (B)	前年度 比較増減 (B-A)	B/A
一般会計	2,459,837	2,473,019	13,182	100.5%
商工費	2,459,837	2,473,019	13,182	100.5%

令和7年度新規事業一覧（観光部関係）

各記号の意味は、以下のとおりです。

「※」 …一部新規を含むもの（事業費は新規分のみを計上）

「◆」 …令和7年度重点施策枠のもの（継続分は除く）

（単位：千円）

番号	部局名	施策	細事業名称	事業概要（新規・一部新規の事業部分のみ）	事業費	一部新規	重点施策
1	観光部	5-2	観光データ調査事業費	本県の外国人延べ宿泊者数の回復率（令和元年比）や日本人宿泊者の平均宿泊日数が全国的にも低位である原因を分析するため、「リアルタイム性のある観光客動態・消費動向調査」を実施するとともに、観光産業の側からその原因を分析するため「インバウンド宿泊事業者実態調査」を実施します。 また、E B P Mを推進するため、収集したデータの利活用について学ぶ「マネジメントデータ利活用研修」を実施します。	49,489	※	
2	観光部	5-1	観光産業支援事業費	観光産業が抱える生産性の低さや人手不足等の課題解決に向け、個別コンサルティングやセミナー・ワークショップの実施により生産性向上及び人材確保に一体的に取り組む、観光事業者の経営力向上を支援します。	21,796	※	◆
3	観光部	5-1	観光客受入環境整備事業費	障がい者や高齢者、外国人旅行者など、誰もが安心して観光を楽しめる受入環境の充実を図るため、宿泊事業者・観光事業者等が地域のDMOと連携して実施する宿泊施設の和洋室化、トイレの洋式化等の取組を支援します。	608,577	※	◆
4	観光部	5-1	全県DMO経営基盤強化事業費	三重県観光連盟が市町、地域、事業者と連携し、単独では実施が困難なスケールメリットを生かした「共同プロモーション事業」を実施する際に、県の施策と合致する内容のプロモーション事業に対して支援します。	4,180	※	
5	観光部	5-1	拠点滞在型観光推進事業費	地域連携による滞在価値の向上、地域としての滞在価値を旅行商品として販売提供する体制・仕組み構築に向けて、専門家の伴走支援や旅行会社等との意見交換機会の提供、本県観光公式サイトより旅行申込可能とする仕組みの構築に取り組みます。	22,310	※	
6	観光部	13-1	ユニバーサルデザインタクシー導入推進事業費	令和6年度に国土交通省の認定要領に、より安価で、適合車両に既存のガソリン車も含まれる「認定レベル準1」の基準が創設されました。 県としても、この「認定レベル準1」の車両を新たに補助対象の区分に設定し、より一層の普及を進めていきます。	3,180	※	
7	観光部	5-2	海外MICE誘致促進事業費	G7伊勢志摩サミットやG7三重・伊勢志摩交通大臣会合の開催地としてのブランド力や美しい自然、歴史・文化、多様な産業の集積といった強みを生かし、国内外において積極的なセールス活動を行うことで、県内経済への波及効果が高い国際会議や企業ミーティング、インセンティブ旅行の県内開催に繋がります。	17,996	※	
8	観光部	5-2	高付加価値旅行者層誘致促進事業費	海外からの高付加価値旅行者層を誘致するため、商談会やファミトリップによるプロモーションを行うとともに、フランス市場からの福利厚生旅行等の誘致に向けて観光セミナーやファミトリップを実施します。また、奈良県、和歌山県と連携し、紀伊半島など広域での高付加価値旅行者層の誘致に取り組みます。	19,364	※	◆
9	観光部	5-2	プラス三重旅促進事業費	ゴールデンルートから県内への外国人旅行者の周遊・宿泊を促進するため、海外の宿泊・体験OTA及び検索サイトを活用した情報発信や、万博会場や関西国際空港での観光PR、中央日本総合観光機構及び中部経済連合会と連携したプロモーションに取り組みます。	90,102	※	◆
10	観光部	5-2	海外誘客推進プロジェクト事業費	観光誘客に重点的に取り組む市場において、セミナーや商談会、旅行会社・インフルエンサーの招請等の取組を行うことで、本県の認知度や関心の向上を図ります。また、本県が車を活用した周遊観光に適していることを踏まえ、海外からのレンタカー利用客の誘客を進めます。	147,630		◆
				観光部 計	984,624		

令和7年度重点施策枠事業一覧表(観光部関係)

(2)未来を拓く

③観光・プロモーションの推進

(単位:千円)

番号	部局名	施策	細事業名	事業概要	事業費
1	観光部	5-1	観光産業支援事業費	観光産業が抱える生産性の低さや人手不足等の課題解決に向け、個別コンサルティングやセミナー・ワークショップの実施により生産性向上及び人材確保に一体的に取り組み、観光事業者の経営力向上を支援するとともに、本事業の取組を情報発信し、観光産業の魅力向上に取り組みます。	41,991
2	観光部	5-1	観光客受入環境整備事業費	障がい者や高齢者、外国人旅行者など、誰もが安心して観光を楽しめる受入れ環境の充実を図るため、宿泊事業者・観光事業者等が地域のDMOと連携して実施する宿泊施設の和洋室化、トイレの洋式化等の取組を支援します。	30,000
3	観光部	5-2	観光誘客促進事業費	大阪・関西万博来訪者の三重県への誘客に向け旅行商品や企画きっぷのプロモーションを実施するとともに、万博を契機に今後本県への来訪につなげるため、関西圏への来訪者や関西在住者に対する発信を実施します。	14,051
4	観光部	5-2	高付加価値旅行者層誘致促進事業費	フランス市場からの新たな旅行者層誘致に向け、観光セミナーやファミトリップを実施するほか、伊勢志摩や東紀州地域と連携し、高付加価値旅行者層の誘致に取り組みます。	20,000
5	観光部	5-2	プラス三重旅促進事業費	訪日旅行者のゴールデンルートと呼ばれる東京-大阪間や、万博やF1など世界的イベントを機に三重県周辺地域を訪問する外国人旅行者の県内への周遊・宿泊を促進するため、海外OTAや検索サイト、JNTOを活用した情報発信や中央日本総合観光機構、中部経済連合会と連携し、プロモーションに取り組みます。	68,750
6	観光部	5-2	海外誘客推進プロジェクト事業費	観光誘客に重点的に取り組む市場において、本県への認知度や関心の向上を図るため、観光・物産・食が一体となったイベントや観光PRの取組を行います。	20,000
小 計					194,792

令和7年度大規模臨時的経費事業一覧(観光部関係)

(単位:千円)

番号	部局名	細事業名	事業費
Iイ 施設改修			
	観光部	県営サンアリーナ環境整備費(県営サンアリーナの施設・設備等の修繕・更新)	109,547
Iイ 施設改修 計			109,547
合計			109,547

○参考「大規模臨時的経費として要求する事業の分類区分」

I 義務的度合いが高いもの

ア 法令で義務づけられた経費、及び債務負担行為が設定済みかつ契約済みの経費
イ ア以外で、県有施設の老朽化等に伴う大規模改修・修繕工事にかかる経費

II Iより義務的度合いは低い、客観的な基準により真にやむを得ないと判断できるもの
情報システムにかかる保守期限の到来等に伴う改修経費

III その他の事業

ア 継続事業
イ 新規事業

事業の見直し調書（観光部関係）

（注）調書の各記号の意味は、以下のとおりです。

「◇」…令和6年度重点施策枠のもの

「□」…令和7年度重点施策枠のもの

（単位：千円）

番号	細事業名	区分			令和6年度	令和7年度	差引	説明
		廃止	リフォー ム	休止	当初予算額A	当初予算額B	B-A	
◇ □ 1	みえのさと体験推進事業費	1			8,908	0	-8,908	事業の目的を達成したため、廃止します。
2	観光事業推進費	1			534	0	-534	観光大使活動費を観光誘客促進事業費へ、観光防災対策費を観光戦略費へ移管することに伴い廃止します。
3	戦略的な観光マーケティング推進事業費	1			82,576	0	-82,576	観光データ調査事業費へ移管することに伴い廃止します。
4	観光産業生産性向上推進事業費	1			34,227	0	-34,227	観光産業支援事業費へ移管することに伴い廃止します。
5	観光産業人材確保・育成事業費	1			32,304	0	-32,304	観光産業支援事業費へ移管することに伴い廃止します。
6	観光産業魅力発信事業費	1			5,476	0	-5,476	観光産業支援事業費へ移管することに伴い廃止します。
◇ 7	拠点滞在型観光推進事業費 （旧 拠点滞在型観光推進事業費） （旧 みえガストロミーツーリズム推進事業費）		1		587,747	39,680	-548,067	事業をより効率的に実施するため、拠点滞在型観光推進事業費とみえガストロミーツーリズム推進事業費を統合します。
□ 8	観光客受入環境整備事業費 （旧 観光客受入環境整備事業費） （旧 みえの風土を活用した観光推進事業費）		1		56,758	649,004	592,246	事業をより効率的に実施するため、観光客受入環境整備事業費とみえの風土を活用した観光推進事業費を統合します。
9	みえガストロミーツーリズム推進事業費	1			25,718	0	-25,718	みえガストロミーツーリズムの推進について、他の滞在価値と併せて効果的に魅力発信していくため、拠点滞在型観光推進事業費へ移管することに伴い廃止します。
10	みえの風土を活用した観光推進事業費	1			27,644	0	-27,644	高付加価値旅行者向けガイド人材育成推進事業を観光客受入環境整備事業費へ移管することに伴い廃止します。
11	みえ観光の産業化推進事業費	1			293,340	0	-293,340	大都市圏プロモーション事業費と観光誘客促進事業費へ移管することに伴い廃止します。
合 計		9	2	0	1,155,232	688,684	-466,548	